

# 憲法を生かす京都の会☆通信



No. 45 2023年9月5日  
京都市東山区今熊野南日吉町17  
FAX: 075-531-3856  
E-mail: komai123@kfa.biglobe.ne.jp

## 憲法を生かす京都の会・学習会のご案内

### 大丈夫？安心して暮らせない国・日本 マイナンバー制度を中心にこの国の今を問う

【講演の内容】今、日本の政治・社会に覆うのは不公正、倫理観の欠如、何もかもがデタラメというべき状況ではないでしょうか。

さきに強行した原発処理水の海洋放出を近隣諸国はもとより、主権者である国民にすら真っ当に説明責任を果たさない。安全か否かは、科学者に委ねるとしても「安心」については、安心ではない。これと同様に次から次へとトラブル続きのマイナンバー絡みの問題、こちらも「安心」とは程遠い。今回の学習会ではマイナンバー制度とは何か、国は何を目指しているのか。なぜそんなに急ぐのかなど全体像を踏まえながら、この制度について考えていきたいと思います。（講師の鈴田渉さんより）

■ 日時：9月21日（木） 午後6時30分より 午後8時45分くらいまで

■ 場所：ウイングス京都 会議室1

（京都市中京区四条烏丸東洞院上る 四条烏丸から徒歩10分）

■ 参加費：300円

■ 講師：鈴田 渉さん（一般社団法人大阪労働学校・  
アソシエ 憲法学）

■ 演題：「大丈夫？安心して暮らせない国・日本  
マイナンバー制度を中心にこの国の今を問う」

■ 問い合わせ：090-1890-2104 駒井まで

\* どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

（ウラ面もご覧ください）



# 岸田内閣の核汚染水の 海洋投棄を糾弾する！

岸田内閣は8月24日、福島第一原発過酷大事故の燃料アプリを冷却した汚染水を海洋放出しました。核汚染水の海洋放出を直ちに中止し、陸上の大型タンクなどへ適切な保管にすべきです。

核汚染水の海洋放出について日本国内はもとより、周辺国にも重大な問題を引き起こすことを憂慮します。海洋投棄は人体と海洋のエコシステムに致命的脅威を与えます。岸田内閣は最悪の選択をしました。

核汚染水の海洋放出は、多くの問題が未解決のまま強行されました。なによりもまず、経



放射能汚染水を流すな！8・13 京都市行動

済産業省と東電は2015年8月に「関係者の理解なしにいかなる処分もおこなわない」と福島県漁業協同組合への書面回答を覆し約束を反故にしました。さらに8月21日に全漁連は岸田首相との面会の場でも海洋放出反対の立場を表明しましたが、首相はこれを無視し、アリバイ工作に終始し、海洋放出を決定しました。核汚染水の海洋放出は、風評被害も加わり、福島県民、漁民はもとより加工業、観光業など生業に大きな影響を与えます。

核汚染水の海洋放出は日本国内の問題に限られません。韓国国内では野党をはじめ広範な市民団体が反対の声をあげています。中国は「太平洋は日本の下水道ではない」と抗議し、日本産水産物の輸入を全面停止しています。また、オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィジーなど15か国・2地域が加盟する太平洋諸島フォーラムは、日本政府に対して、汚染水を自国内で管理するよう求めています。



福島原発汚染処理水糾弾集会 韓国ソウル  
2023. 9. 2 6000人参加

一番安易で経費がかからない核汚染水の海洋放出の当初処理費は34億円と見込まれました。しかし、これに伴う風評被害対策費や漁業者支援基金など、すでに1200億円を計上しています。今後30年間、海洋放出を続ければその費用は計りしれません。その費用は税金と電気料金なのです。

政府は核汚染水の海洋放出を直ちに中止せよ！